

## 第 3 回 K G リアルターズクラブ 東京会

### 1. 開催の概要

開催日時・場所

- ・平成19年12月4日(火) 18:30 ~ 21:30
- ・関西学院大学東京丸の内キャンパス(東京都千代田区)

参加者

- ・35名(関西学院出身者33名、東京R・Eクローバー倶楽部2名)

### 2. 開催の詳細

18時30分に開場、平日だったが19時頃までには大部分の参加予定者が集う。コートを脱ぎ、カバンを置いた後は、再会を懐かしむ人やさっそく名刺交換をする人など様々。開会に向け、徐々に会場を熱気が包む。19時。いよいよ開会。

司会は恵久ホームの丹羽氏が中心にこなし、MID 都市開発の鈴木氏がバックアップする磐石(?)の体制。



開会の挨拶 (住友不動産の白石氏)



『ことし5月に12人での飲み会として発足し、7月には20人強での第2回を経て、今回は40人弱に参加してもらった。計3回で延べ50人近い所帯になれた。KGリアルターズクラブの東京支部として継続的に取り組んでいきたいと考えている。皆さんには引き続き積極的に参加してもらいたい。また、飲み会だけでなく、ゴルフなどの会も立ち上げていきたい。皆で一緒になり、作り上げていこう』

### KGリアルターズクラブの紹介(青木総合会計事務所の青木氏)



『KGリアルターズクラブでは、斎藤会長を中心に多様な取り組みを進めているが、最終的にどうビジネスに繋げるかがポイントだ。昨年はビジネスで60万円の資金を集め、うち15万円を学院に寄付した。また、来年には設立20周年の記念事業も検討している。現状は会費を本部で徴収しており、東京の会員にどう還元するかが、今後の課題だ。東京独自の活動にも期待している』

### 乾杯の挨拶(MIDリートマネジメントの辻岡氏)



『大阪(本部)で活発に活動しているが、東京でもぜひ同様にやってもらいたい。ビジネスにつながることを楽しみにしている』

乾杯の後は懇親を深めた。眼下に広がる夜景が美しい。その後、ビンゴ大会へ。





ビンゴ大会トップは、クローバー倶楽部から参加してくれた志井氏(有楽土地)。2位はオフィスエフの中村さん、3位は東京昇栄の堤氏(右)。左は賞品(カレンダー)提供者であるオリックスの内田さん。皆さん、おめでとうございます。そして、会はいよいよ終盤へ向かう。

#### 関西学院大学東京丸の内キャンパスの紹介(東京丸の内オフィスの松本氏)



『東京支部には1200人が登録しているが、卒業生は首都圏に1万5000人ほどいる。学院と一体となり、活動しており、環境にも恵まれている。7月に約450人が参加する「KG東京フェスタ」のほか、直近では「クリスマスパーティ」を12月15日に開く。年間延べ約1万2000人がこの支部を訪れており、今日を契機に、今後は気軽に利用して欲しい』

閉会の挨拶(日本アセットマネジメントの道橋氏)



『今回が3回目となるが、短期間でこれだけの会になったことは素晴らしい。今後は、大学不動産連盟に加盟するとともに、実績をあげて関学の公認団体を目指して欲しい。単なる飲み会に終わることなく、勉強会やゴルフ、マージャンなど活動の幅を広げていきたい。この会が未永く続き、母校への貢献を期待している』

最後はエールの神様、大阪から参加していただいた東新興産の田中氏。続いて、皆で肩を組み、校歌「空の翼」を熱唱し、次回の開催予定である来年4月の再会を誓い合った。



『仰げば星斗、蘭干として、悠久の心理を囁き』

東京会の第3回となった忘年会は、皆様のご協力のもと、無事に、そして盛大に開催することができました。有難うございます。また、幹事役の皆さんはご苦労様でした。会の中心を担う白石さんに帰りがけ「会の支えは参加者の自発的な行動だが、一方で長期的に続けていけるように負担感のない範囲で取り組んでいこう」との言葉をかけて戴きました。焦らず、慌てず、しかし着実に「東京会」から「東京支部」に発展していくための一步を、今回の忘年会で踏み出せたのでは、と感じています。

(平成9年法学部卒 朝野悟司)